

Annual Report

平成 30 年度

第 25 号

館報



2019

Shizuoka City Toro Museum
静岡市立登呂博物館

目次

1	基本理念・沿革	
1-1	基本理念	2
1-2	沿革	3
2	概要	
2-1	登呂博物館	5
2-2	登呂遺跡	5
3	管理運営	
3-1	利用状況	6
3-2	入館者数推移	6
3-3	利用者数詳細	7
3-4	体験学習等利用状況	8
3-5	組織	9
3-6	予算・決算	10
4	展示	
4-1	企画展「ウトウ・トロ・タカノミチ」	12
4-2	企画展「富士山がみえる」	14
4-3	企画展「平成×登呂」	16
4-4	企画展「登呂をとめ 安倍をとこ」	18
4-5	企画展「石をつかった、土器をつくった。－静岡市の旧石器・縄文時代－」	20
4-6	特別展・企画展開催実績(リニューアルオープン後)	22
4-7	通常展示	23
5	保存活用	
5-1	修理事業	24
5-2	資料貸出	25
5-3	寄贈	25
6	教育普及	
6-1	主催事業	26
6-2	共催・連携事業	31
6-3	講師派遣・出張講座	34
7	職場体験・博物館実習等	
7-1	職場体験	35
7-2	視察等受入	35
7-3	博物館実習	35
8	広報	
8-1	広報印刷物	36
8-2	ウェブサイト	37
8-3	報道・広告等	37
8-4	トロペー	40
9	その他	
9-1	博物館ボランティア	42
9-2	博物館協議会	44
10	利用案内	46

1 基本理念・沿革

1-1 基本理念

登呂博物館は、登呂遺跡と一体化した博物館として昭和47年に開館し、平成22年10月にリニューアルオープンしました。リニューアルに際し策定された「建替基本構想」（平成18年3月）では次のとおり基本理念が定められました。

基本方針

登呂遺跡は、特別史跡として貴重な国家的文化遺産であり、静岡市を代表する文化的シンボルであります。新たな博物館は、この登呂遺跡と一体化した遺跡博物館になることを目指し、登呂遺跡の保存と後世への継承、有意義で幅広い活用に努めます。

また、登呂遺跡の発掘調査によって明らかにされた稲作農耕文化とその発掘調査がもたらした意義を博物館活動の中心テーマに据え、博物館の内外でさまざまな活動を展開します。

そして、登呂遺跡が伝える歴史や文化あるいは地域について、豊かな実感を持って学ぶことができる場となり、人々の活気にあふれる集いと温もりのある交流を生み出していく役割を果たします。

役割と使命

- 1 登呂遺跡と一体化した遺跡博物館
- 2 稲作農耕文化に関する調査・研究の拠点
- 3 登呂遺跡の発掘調査がもたらした意義の継承
- 4 情報の収集と発信、ネットワーク化の推進
- 5 楽しく・豊かに・実感できる学びの創出
- 6 学校教育との連携・生涯学習への支援
- 7 「登呂学」の創造を通じた集いと交流の促進



登呂博物館ロゴマーク

また、博物館リニューアルに先立ち、登呂遺跡については、平成7年3月に有識者委員会によって「特別史跡登呂遺跡保存整備基本計画」が策定され、平成11年度から15年度にかけて再発掘調査が行われました。

そして、再発掘調査の結果を基にして「特別史跡登呂遺跡再整備基本設計」が平成17年3月に策定され、平成18年度から平成23年度にかけて再整備事業が行われました。

「基本設計」では再整備の目的・方針について、次のように定められています。

整備の目的

登呂遺跡は、今日までつづく日本の農耕文化の初期段階（弥生時代の実態をしめし、弥生時代の社会の様子を学ぶことのできる貴重な遺跡である。そうした登呂遺跡の特徴を良好に保存しつつ、正しく理解し、継続的な遺跡空間の活用を図る。また、地域住民に親しまれ、活かされることで、地域の誇りとして長く受け継がれていく遺跡となるようにする。

1. 登呂遺跡を正しく理解するために、遺構の精密な検討をもとに復元的に整備を行う。

2. 史跡整備の先駆として、常に新たな体験と情報が発信できる機能を有した整備とする。
3. 地域の人々が遺跡の活用と運営に積極的に関わることができる機能と運営体制を整える。地域の人々の生活の一部としての機能を保持する。
4. 整備により整えられた機能を活かし、継続的に保存・活用して行くための運営体制の充実を図る。

整備方針

学術的な成果に基づいて復原整備を行うと共に、より多く人々が関わりを持てる遺跡となるようにするため、活用を中心として運営が行えるように整備を行う。また、現在の登呂遺跡は都市公園としても位置付けられ、災害時の広域避難地にも利用されることから、都市公園としての機能も含んだ整備とする。

1. 盛土等により、遺構の保存を図った上で活用を行う。
2. 住居域と水田域を一体として感じられる空間として整備を行う。
3. 体験を重視した遺跡運営を継続的に行うことのできる整備とする。
4. 遺跡のエンタランス機能と体験・情報発信の中心として博物館を充実させるとともに、遺跡公園と博物館の一体化を図り整備を行う。
5. 遺跡公園としての復元的空間表現を重視した整備とするとともに、従来の都市公園的機能を取り入れる。(都市公園としての機能は遺跡外周部に集約する。)

1-2 沿革

昭和 18 年 (1943)	1 月	軍需工場建設の際、遺跡が発見される
	7 月 11 日	「登呂遺跡発見」の新聞報道 (毎日新聞静岡版)
	8 ~ 9 月	静岡県による第一次発掘調査
昭和 20 年 (1945)	6 月 20 日	静岡大空襲。調査記録・大型木製資料などが焼失
昭和 22 年 (1947)	7 月	「登呂遺跡」を正式名称に決定
	7 ~ 9 月	静岡市登呂遺跡調査会による第二次発掘調査開始 (7 月 13 日鋤入式)
	11 月	東京国立博物館にて『登呂遺跡出土品特別展』開催 (昭和 23 年にも)
昭和 23 年 (1948)	4 月	日本考古学協会発足。静岡市登呂遺跡調査会解散
昭和 23 年~25 年 (1948~50)		日本考古学協会による第三次~第五次発掘調査
昭和 24 年 (1949)	11 月	調査報告書『登呂』(日本考古学協会編、毎日新聞社発行)刊行
昭和 25 年 (1950)	4 月	奈良国立博物館にて
		『古代農耕文化展 -登呂遺跡・瓜郷遺跡・唐古遺跡から見た-』開催
昭和 26 年 (1951)	1 月	登呂遺跡休憩所 (案内所・名物協会売店併設) 竣工
	3 月	1 号復元住居を建設
昭和 27 年 (1952)	4 月	1 号高床倉庫を建設
	3 月 29 日	国史跡に指定 (11,600 m ²)
	11 月 22 日	国特別史跡に指定 (11,600 m ²)
昭和 29 年 (1954)	9 月	調査報告書『登呂-本編-』(日本考古学協会編、毎日新聞社発行)刊行
昭和 30 年 (1955)	4 月	静岡考古館 開館 (各研究機関からの出土品の返還を受けて)
昭和 34 年~42 年 (1959~67)		遺跡隣接地を購入し、都市公園として整備
昭和 35 年 (1960)		地元住民が「登呂会」を結成。第一回「登呂まつり」開催

昭和 40 年 (1965)	7～8 月	東名高速道路建設に伴う静岡県文化財保存協会による第六次発掘調査
昭和 41 年 (1966)		遺跡隣接地・水田部分 (48,300 m ²) が史跡に仮指定される
昭和 43 年～47 年 (1968～72)		住居跡・森林跡・水田跡の一部・東名高架下を整備
昭和 46 年 (1971)	10 月	静岡考古館 閉館
昭和 47 年 (1972)	4 月 1 日	静岡市立登呂博物館 開館
昭和 47 年～53 年 (1972～78)		水田跡を復元整備
昭和 49 年 (1974)	2 月 20 日	天皇・皇后両陛下ご来館
昭和 53 年 (1978)	12 月 21 日	仮指定地が特別史跡に追加指定 (48,300 m ²)
昭和 56 年 (1981)	6 月	公園内に「静岡市立芹沢銈介美術館」開館
昭和 59 年 (1984)		登呂遺跡発見 40 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか)
昭和 63 年 (1988)	10 月	日本考古学協会設立 40 周年記念静岡大会 「日本における稲作農耕の起源と展開」開催
平成 2 年 (1990)	6 月	「弥生人体験クラブ」結成
平成 4 年 (1992)	10 月	静岡県浙江省友好提携 10 周年記念シンポジウム 「イネのルーツ・シンポジウム～登呂のルーツは浙江省にあり」開催
	11 月	博物館開館 20 周年式典開催
平成 5 年 (1993)		登呂遺跡発見 50 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか) 「市民水田」事業の開始
平成 6 年 (1994)	3 月	博物館リニューアル。1 階を参加体験ミュージアムとしてオープン
平成 7 年 (1995)		「博物館ボランティア」の導入
平成 11 年～15 年 (1999～2003)		登呂遺跡再発掘調査 (第 19 次～23 次調査)
平成 15 年 (2003)	11 月	登呂遺跡発見 60 周年記念シンポジウム 「弥生時代の登呂ムラと各地のムラ」開催
平成 16 年 (2004)	2 月 27 日	登呂遺跡出土品 699 点が静岡県指定文化財に指定
平成 18 年～23 年 (2006～2011)		登呂遺跡再整備
平成 19 年 (2007)	6 月 30 日	登呂博物館 閉館
平成 20 年 (2008)	9 月 13 日	第四回日本考古学協会公開講座 ～考古学から見えてきたふるさとの歴史～ 「はじまりは登呂遺跡 -弥生農村の実像を求めて-」開催
平成 21 年 (2009)		登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター「トロペー」誕生
平成 22 年 (2010)	10 月 3 日	登呂博物館リニューアルオープン
平成 23 年 (2011)	9～10 月	リニューアル一周年記念特別展 「発掘された日本列島 2011」を開催 (全国巡回展の一会場として)
平成 28 年 (2016)	8 月 17 日	登呂遺跡出土品 775 点が重要文化財に指定
	11 月	重要文化財指定記念イベント「とろエンナーレ 2016」開催
	11 月 19 日	重要文化財指定記念シンポジウム 「遺跡からみる 弥生集落のかたち」開催
平成 30 年 (2018)		重要文化財指定資料の修理事業開始
	4 月 24 日	音声ガイドの利用開始
	11 月 3 日	日本考古学協会設立 70 周年記念事業の一つとして 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」開催

2 概要

2-1 登呂博物館

(1) 開館日 昭和 47 年 4 月 1 日
リニューアルオープン 平成 22 年 10 月 3 日

(2) 建物

ア 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階

イ 面積 建築面積 1,259.64 m²

延床面積 2,296.52 m²

部門	諸室	面積(m ²)
保管	一般収蔵庫	150.05
	特別収蔵庫	25.41
	前室	19.29
展示	体験展示室	286.26
	常設展示室	211.62
	特別・企画展示室	96.90
	展示準備室	10.98
調査研究	調査研究室、写場など	65.96
教育普及	交流ホール	206.13
交流	図書コーナー、書庫など	180.55
搬入搬出	トラックヤード、荷解場	97.39
管理運営	ミュージアムショップ	26.64
	事務室	69.79

(3) 建設業者

建築設計 株式会社川口建築都市設計事務所
(現 合同会社デザイン・アープ)

展示設計 株式会社丹青社

建築工事 木内建設株式会社

電気工事 近和電業株式会社

衛生工事 大和工機株式会社

空調工事 内川工業株式会社

昇降機工事 株式会社日立製作所

展示工事 株式会社丹青社

展示情報工事 NEC ネットズエスアイ株式会社

2-2 登呂遺跡

(1) 遺跡の性格

特別史跡、都市公園(登呂公園)、一時避難地

(2) 面積

総面積 約 66,000 m²*

(うち特別史跡指定面積 59,900 m²)

※特別史跡に博物館・美術館・銈介の家を加えた面積

(3) 復元建物

ア 棟数 住居 5 棟^{※1,2}

高床倉庫 3 棟^{※1}

祭殿 1 棟

※1 各 1 棟は昭和年間に設計のもの

※2 1 棟は鉄骨造 GRC パネル貼り構造

イ 設計 昭和-関野克 平成-宮本長二郎

(4) 復元水田 面積 約 21,000 m²

(5) 再整備設計 株式会社文化財保存計画協会

(6) 管理状況

ア 遺跡、博物館等

静岡市観光交流文化局文化財課

イ 芹沢銈介美術館

静岡市観光交流文化局文化振興課

ウ 登呂公園(学びの広場、園路など)

静岡市都市局都市計画部公園整備課

エ 駐車場運営

公益財団法人するが企画観光局

営業時間 8:30 - 17:00

料金 普通車 400 円、バス 1,500 円

オ ミュージアムショップ運営

株式会社大石商店(30.4.1~30.11.20)

大石商店(30.11.21~31.3.31)

3 管理運営

3-1 利用状況

平成 30 年度博物館利用状況 ()内は前年度の値

開館日数 305 日 (305 日)

入館者数 167,796 人 (167,591 人)

観覧者数 37,425 人 (41,791 人)

団体見学 422 団体※ (422 団体) ※減免処理した学校団体と一般団体の合計

3-2 入館者数推移

(単位：人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	27,255	18,323	10,780	14,372	16,636	14,948	102,314
23	25,094	29,751	20,176	15,028	26,905	12,557	18,758	14,290	8,486	10,523	13,019	13,026	207,613
24	24,132	27,420	14,333	13,025	23,665	13,366	15,592	13,267	7,260	10,126	13,426	14,254	189,866
25	19,688	26,403	14,434	11,286	22,603	11,489	18,326	14,561	7,424	10,418	10,285	16,210	183,127
26	22,361	28,563	13,940	11,398	25,578	12,311	18,483	13,945	4,973	8,887	10,614	12,976	184,029
27	23,132	27,869	12,493	11,638	21,821	16,666	17,429	12,150	6,821	9,691	10,397	16,329	186,436
28	24,112	29,217	12,727	12,787	21,039	10,708	16,663	13,591	7,601	9,545	10,795	16,106	184,891
29	19,882	23,605	14,930	11,352	23,020	10,145	15,195	11,274	6,562	9,129	10,139	12,358	167,591
30	20,688	24,713	13,215	10,411	21,188	12,139	16,417	11,125	7,599	8,611	9,582	12,108	167,796
リニューアル後 (H22～H30)													1,573,663
旧博物館 (S47～H19)													6,954,504
合 計													8,528,167

3-3 利用者数詳細

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
有料 観覧者数	一般	個人	1,312	1,579	706	902	2,124	823	916	825	598	728	677	1,133	12,323
		団体	57	141	148	34	0	42	186	33	0	39	0	0	680
		回数券	31	105	80	40	46	25	40	25	1	5	25	35	458
		助成券	19	15	11	22	17	12	14	5	4	5	9	5	138
		共通個人	211	398	282	195	414	287	338	200	83	201	214	259	3,082
		共通団体	0	0	37	0	0	34	37	47	0	0	0	0	155
		小計	1,630	2,238	1,264	1,193	2,601	1,223	1,531	1,135	686	978	925	1,432	16,836
	高校生・大学生	個人	49	114	30	46	187	59	40	35	84	157	73	134	1,008
		団体	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	31
		回数券	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	10	35
		助成券	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	5
		共通個人	6	21	9	25	32	18	39	13	7	15	12	24	221
		共通団体	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	36
		小計	56	135	39	71	245	78	115	48	92	173	115	169	1,336
	小学生・中学生	個人	410	530	87	262	1,025	172	98	102	62	115	77	270	3,210
		団体	17	0	8	0	0	0	0	0	0	4	0	0	29
		回数券	4	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	20	29
		助成券	8	4	3	0	4	4	2	0	0	3	0	0	28
共通個人		23	34	7	24	77	7	15	1	4	9	8	10	219	
共通団体		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		462	568	105	286	1,111	183	115	103	66	131	85	300	3,515	
合計	2,148	2,941	1,408	1,550	3,957	1,484	1,761	1,286	844	1,282	1,125	1,901	21,687		
無料 観覧者数	一般	学校行事	181	176	98	13	1	46	77	17	16	24	23	12	684
		身障者	91	139	53	68	128	80	69	82	78	53	48	78	967
		老年者	53	75	23	27	58	16	39	23	17	34	76	46	487
		施設	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	6	0	38
		視察等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	19	27	12	7	1	18	60	0	7	3	47	1	202
		小計	344	417	186	115	188	192	245	122	118	114	200	137	2,378
	高校生・大学生	学校行事	35	103	2	0	0	3	0	21	2	6	11	0	183
		身障者	0	3	0	0	0	10	0	0	0	0	0	1	14
		研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	31	1	0	0	0	5	0	3	0	0	0	40
		小計	35	137	3	0	0	13	5	21	5	6	11	1	237
	小学生・中学生	学校行事	3,674	2,845	1,650	225	16	447	812	257	218	299	375	77	10,895
		身障者	22	20	6	21	29	21	4	6	7	4	23	5	168
		市内	62	90	70	97	212	49	87	38	22	19	15	63	824
		キッズ	27	41	30	44	176	19	13	11	2	21	15	14	413
		施設	0	0	0	1	0	0	35	7	0	0	0	2	45
		幼児	73	66	46	68	147	60	102	22	30	51	53	60	778
小計		3,858	3,062	1,802	456	580	596	1,053	341	279	394	481	221	13,123	
合計	4,237	3,616	1,991	571	768	801	1,303	484	402	514	692	359	15,738		
総計	観覧者	6,385	6,557	3,399	2,121	4,725	2,285	3,064	1,770	1,246	1,796	1,817	2,260	37,425	
	総入館者	20,688	24,713	13,215	10,411	21,188	12,139	16,417	11,125	7,599	8,611	9,582	12,108	167,796	

3-4 体験学習等利用状況

(1) 屋外体験

- ・登呂の“ムラ人”として遺跡案内を実施
- ・体験学習(火おこし、土器炊飯)の実施と解説
火おこし：実際に着火するまでの体験
土器炊飯：台付甕形土器のレプリカを使用して
登呂遺跡で栽培していた可能性がある
赤米を炊飯・試食に供している
- ・「屋外体験指導員」(臨時職員：常置配置数1～3人)が対応
- ・「屋外体験指導員」の活動は、文化庁の「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業国庫補助」を受けて、実施している

屋外体験参加者数(平成30年度、単位：人)

月	来場案内者	火起こし	土器炊飯
4	15,820	4,557	508
5	19,240	3,988	935
6	8,760	2,198	561
7	7,610	1,075	425
8	16,230	1,723	692
9	9,590	876	311
10	11,750	1,499	347
11	8,520	1,023	536
12	5,400	677	436
1	6,181	905	533
2	7,890	1,156	455
3	9,280	1,201	412
合計	126,271	20,878	6,151

(2) 弥生体験展示室

- ・体験学習(臼と杵による脱穀・穂摘み体験・貫頭衣着用・田下駄・機織り・土器パズル等)の実施及び解説、パンフレットの配布
- ・「体験指導員」(非常勤嘱託職員：常置配置数2～3人)及び博物館ボランティアが対応

体験学習参加団体及び参加者数(平成30年度)

区分	団体数	大人(人)	小人(人)
学校団体※	275	1,659	12,457
一般団体	215	3,253	1,243
合計	490	4,912	13,700

※「学校団体」の団体数と人数は体験指導員日誌から抽出した値

(3) 図書コーナー

- ・登呂遺跡に関する資料、全国の博物館の展示図録や発掘調査報告書・歴史専門書・こども向けの歴史関連図書を配架
- ・特別展・企画展の関連資料等を陳列
- ・こども向けぬりえコーナーの設置
- ・利用者 平成30年度：4,448人
- ・臨時職員(常置職員数1～2名)が対応
※資料・図書等の貸出は行っていない

(4) 情報・映像コーナー

- ・登呂博物館が所蔵する遺物・図書の検索
- ・市内の観光案内などの情報の提供
- ・全国の博物館や公共施設等の催事情報を提供
- ・「子ども学芸員養成講座」による展示(8月)
- ・博物館実習生による展示(8月～9月)
- ・静岡県埋蔵文化財センターによる展示(平成30年3月～4月、9月～10月)
- ・「トロペーの博物館案内」(映像案内)を常時上映

3-5 組織

静岡市観光交流文化局

文化財課（課長 岡村渉）

- ├ 文化財保護係
- ├ 埋蔵文化財係 ─ 埋蔵文化財センター
- ├ 三保松原保全活用推進室
- └ 登呂博物館

登呂博物館職員

職名	氏名	主な業務内容
館長(登呂遺跡担当課長)	宮本博之*	総括
主幹	芝原裕明	施設管理、遺跡管理
主査	益田ちづる	広報、協議会、教育普及事業、現状変更
主任主事	小島秀美	予算決算、ミュージアムショップ
	鈴木匡*	展示、教育普及事業、修理事業
	國島朋子*	展示、教育普及事業、ボランティア、学校・市民団体連携
	桑山雄貴	展示、水田利活用、印刷物作成
非常勤嘱託	増田尚子	庶務事務
	飯島敬三	体験展示室での体験指導
	磯悦子	団体見学者の対応
	岡村里美	教育普及事業の実施、補助
	巻田直紀	
臨時職員	3人	図書コーナーでの案内など
	4人	屋外での体験指導活動

※の職員は教育委員会事務局教育局教育総務課の併任職員

その他

博物館ボランティア 47人（平成30年4月1日時点）

受付業務委託 静岡ビル保善株式会社

ミュージアムショップ運営 株式会社大石商店（平成30年4月1日時点）

3-6 予算・決算

(1) 平成30年度歳入 ※予算額は年度当初の予算額（歳出も同様）

収入科目	予算額	決算額	備考
博物館使用料	6,130,000	5,406,755	博物館観覧料、博物館施設使用料（行政財産：電柱等）
文化財保護費補助金 （国庫補助金）	3,313,000	3,313,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 （出土品保存修理事業、「登呂ムラ」発信事業）
土地貸付収入	3,154,000	3,074,900	一般土地貸付料（普通財産：駐車場土地ほか）
各種発行物売払収入	666,000	682,430	図録売払収入
社会保険料収入	23,000	6,019	臨時職員等 雇用保険料本人負担金
教室等会費収入	171,000	257,900	講座・講演会参加料
雑収	89,000	110,448	社会教育費雑入（ミュージアムショップ光熱費）
合計	13,546,000	12,851,452	

(2) 平成30年度歳出

ア 公園管理費

支出科目	予算額	決算額	備考
需用費	792,000	620,292	
光熱水費	732,000	594,372	電気・水道代
(維)修繕料	60,000	25,920	登呂遺跡北側ガイダンストイレ修繕費
委託料	787,000	668,520	北側ガイダンス施設エレベーター保守委託ほか
合計	1,579,000	1,288,812	(ア)

イ 文化財保護費

支出科目	予算額	決算額	備考
共済費	34,000	0	臨時職員 社会保険料
賃金	3,986,000	3,670,945	臨時職員（屋外体験指導員）賃金ほか
旅費	37,000	73,880	修理事業文化庁監督旅費
需用費	820,000	719,192	
消耗品費	62,000	61,471	水田管理用品ほか
燃料費	12,000	7,092	耕運機燃料ほか
光熱水費	396,000	346,545	電気・ガス・水道代
(維)修繕料	350,000	304,084	遺跡修繕工事費
役務費	89,000	189,292	電話代ほか
委託料	9,693,000	8,967,104	遺跡清掃、植栽、修理業務委託ほか
合計	14,659,000	13,620,413	(イ)

ウ 博物館管理運営費

支出科目	予算額	決算額	備考
報酬	9,139,000	8,872,749	協議会委員報酬・非常勤嘱託報酬
給料	28,017,000	27,652,692	博物館職員
職員手当等	15,907,000	16,675,708	
人件費計	53,063,000	53,201,149	(ウ)
共済費	40,000	24,820	臨時職員 社会保険料
賃金	3,492,000	2,970,273	臨時職員 賃金ほか
報償費	220,000	237,000	企画展関連講座、教育普及事業講師謝金ほか
旅費	578,000	291,760	展示準備関係旅費ほか
需用費	12,485,000	17,349,624	
消耗品費	1,408,000	1,274,614	一般事務及び管理用品ほか
食糧費	5,000	0	
印刷製本費	2,851,000	3,313,727	企画展ポスター・チラシほか
光熱水費	7,221,000	7,521,049	電気・水道代
(物)修繕料	200,000	94,898	物品等修繕料
(維)修繕料	800,000	5,145,336	博物館施設修繕工事費
役務費	1,972,000	1,827,955	電話代・クリーニング代ほか
委託料	31,739,000	26,077,056	施設管理のための業務委託ほか
使用料及び賃借料	564,000	486,230	コピー代ほか
備品購入費	185,000	226,291	図書購入費ほか
負担金、補助及び交付金	99,000	83,000	日本博物館協会負担金ほか
物件費等計	51,374,000	49,574,009	(エ)
合計	104,437,000	102,775,158	(オ) = (ウ) + (エ)

エ 観光総務費

支出科目	予算額	決算額	備考
負担金、補助及び交付金	1,388,000	1,388,000	登呂まつり補助金
合計	1,388,000	1,388,000	(カ)

オ 歳出総計

	予算額	決算額	備考
総計	122,063,000	119,072,383	(ア) + (イ) + (オ) + (カ)

4 展示

4-1 企画展「ウトウ・トロ・タカノミチ」

会 期：平成30年3月21日(水・祝)～6月10日(日)

≪70日間(61日間)≫

※前年度からの継続。()内は平成30年度の日数

概 要：有東遺跡、登呂遺跡、鷹ノ道遺跡は、それぞれに名前がつけられ区別されているが、各遺跡は互いに深いつながりがある。単純に三つの遺跡を紹介するのではなく、一つの地域として捉え、登呂遺跡周辺の弥生時代中期から末期までの変遷を辿る。



展示状況

観覧者：14,025人(13,107人)

一 般 5,445人(4,838人)

高校生・大学生 403人(353人)

小学生・中学生 8,177人(7,916人)

※()内は平成30年度のみ的人数

点 数：155点

資料協力：静岡県埋蔵文化財センター



チラシ表面

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：48,330枚

紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B2、A2

数 量：750部、1,540部

紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

担当者：桑山雄貴



チラシ裏面

関連事業

(1) 講演会「弥生、登呂」

概要：弥生時代から古墳時代への社会構造の変化について、「全国的な視野」・「広域的な歴史解釈」という視点から考える。

日程：平成30年3月21日（水・祝）

時間：13:00 - 16:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

演題：ア「登呂遺跡周辺の弥生遺跡」

イ「石器から鉄器へ」

ウ「弥生時代から古墳時代への社会変革」

エ 鼎談「弥生社会の中の登呂遺跡」

講師：ア 登呂博物館館長 伊藤寿夫

イ 文化庁主任文化財調査官 禰亘田佳男

ウ 大阪大学大学院教授 福永伸哉

料金：200円

人数：50人（定員60人）



講演会（鼎談）

(2) 展示解説

日程：平成30年3月21日（水・祝）、
4月8日（日）、21日（土）、5月6日（日）、
26日（土）、6月10日（日）

時間：11:00-、14:00-（3/21は11:00-のみ）

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：92人



展示解説

広報・報道 ※ウェブでの広報活動は省略（他の展示も共通）

(1) テレビ・ラジオ

・「静岡ドライブインフォメーション」

『Cha!Cha!サタデー』FM-Hi! 4月14日（土）

・「地域の話題 ウトウ・トロ・タカノミチ」

『トコチャンワイド』トコちゃんねる静岡

5月10日（木）撮影、5月17日（木）放送

(2) 新聞 掲載なし

(3) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』3月号

・「ARTINFORMATION」『すろーかる』3月号～6月号

・「ARTINFORMATION」『すろーかる』3月号(広告)

4-2 企画展「富士山がみえる」

会 期：平成30年6月30日(土)～9月9日(日)
 ≪63日間≫

概 要：私たちが大好きで慣れ親しんだ存在である富士山は、ときに美しさを感じ、ときには畏れ敬う対象でもある。そんな富士山を、登呂遺跡に暮らす人々も見ていた。富士山を中心とした信仰の山に対して、人々がどのような感情を持ち、どう対峙してきたか、関連資料から見る。



展示状況

観覧者：7,008人

一 般	4,325人
高校生・大学生	355人
小学生・中学生	2,328人

点 数：319点

資料協力：伊豆山神社 岡田紅陽写真美術館
 (団体) 甲府市教育委員会 静岡県埋蔵文化財センター
 静岡県立中央図書館 清見寺 大石寺
 富士山かぐや姫ミュージアム
 ふじさんミュージアム 富士宮市教育委員会
 北杜市教育委員会 山梨県立博物館



チラシ表面

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4
 数 量：25,130枚
 紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター

サイズ：B1、B2、A2
 数 量：2部、750部、1,540部
 紙 質：微塗工紙 四六判 99kg

担当者：鈴木匡



チラシ裏面

関連事業

(1) 講演会「富士山信仰とそれ以前」

概要：富士山が遥拝されるようになってから富士山信仰の内容を主としながら、縄文時代などそれ以前の時代の富士山信仰についても触れる。

日程：平成30年7月21日（土）

時間：13:30 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

演題：「富士山の歴史を学ぶ」

講師：静岡県富士山世界遺産センター准教授 大高康正

料金：無料

人数：27人（定員60人）

(2) ワークショップ「フジサンを描いてみよう！」

概要：富士山絵画の名作の解説を受けた後、みんなの「フジサン」を自由な発想で描く。

日程：平成30年7月28日（土）

時間：13:30 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：静岡県富士山世界遺産センター教授 松島仁

料金：無料

人数：20人（定員20人）

(3) 展示解説

日程：平成30年6月30日（土）、7月22日（日）、
8月11日（土）、9月2日（日）

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：96人

広報・報道

(1) テレビ・ラジオ

・「静岡ドライブインフォメーション」

『Cha!Cha!サタデー』FM-Hi! 7月7日（土）

・静岡第一テレビ SDT ビデオリポータークラブ

7月18日（火）撮影

・「街角レポート」

『ひるラジ!静岡情報館』FM-Hi! 8月24日（金）

・『ひる・しず』NHK静岡（写真提供）

(2) 新聞

・「いろんな富士山描いたよ」

朝日新聞 7月29日（日）

・「富士山の高さ表現」

静岡新聞 7月29日（日）

(3) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』6月号

・「ARTINFORMATION」

『すろーかる』7月号～9月号

・「ARTINFORMATION」

『すろーかる』7月号（広告）

・『縄文ZINE』第8号（6月20日発刊）

・JR静岡駅構内ポスター掲出

6月18日（月）～7月15日（日）



講演会



ワークショップ

4-3 企画展「平成×登呂」

会 期：平成 30 年 9 月 29 日(土)～12 月 16 日(日)
 《68 日間》

概 要：登呂遺跡は、平成になって再調査や再整備、出土品の重要文化財指定など多くの出来事があった。再調査で判明したことも多く、再整備では大きく景観も変わった。「昭和」と「平成」のイメージや実態の「違い」を示しながら、登呂遺跡の「平成史」をまとめて展示する。

観覧者：5,155 人

一 般	3,260 人
高校生・大学生	254 人
小学生・中学生	1,641 人

点 数：117 点

印刷物：(1) チラシ

 サイズ：A4

 数 量：25,130 枚

 紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター

 サイズ：B1、B2、A2

 数 量：2 部、750 部、1,540 部

 紙 質：微塗工紙 四六判 99kg

(3) パンフレット

 構 成：A4 8 ページ 中綴じ

 数 量：200 部

(4) 図録 ※平成 22 年度に作成されたものの再版

 名 称：『ようこそ 登呂ムラへ -登呂遺跡の生活復元図鑑-』

 構 成：A4 50 頁 無線綴じ

 数 量：700 部

 紙 質：表紙 アートポスト 四六判 180kg

 本文 b7 トラネクスト 四六判 86kg

担当者：桑山雄貴

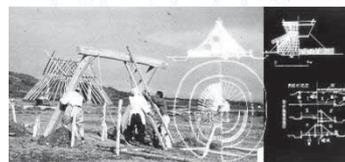


展示状況

平成×登呂



さあ、「昭和」と「平成」の「違い」を探検しよう



2018 年 9 月 29 日(土) → 12 月 16 日(日)

静岡市立登呂博物館 2 階 特別・企画展示室

休館日 9:00-16:00 休館日 9:00-16:00(9月24日・10月1日)

観覧料 観覧料 無料 小学生 50円

問合せ 054-251-1111

静岡市立登呂博物館

チラシ表面



チラシ裏面



図録表紙

関連事業

(1) 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」

概要：登呂遺跡発掘を機に 1948 年に日本考古学協会が設立してから、70 年が経過した。そのことを記念し、設立の契機となった登呂遺跡において市民を対象とした公開講演会を行った。

内容は「未来」をテーマとして、研究者による公開講演会と子ども（高校生）と研究者との討論会を行った。なお、高校生は事前に登呂遺跡で「衣食住」についての体験活動を行い、それを基に発表と討論会に臨んだ。

日程：平成 30 年 11 月 3 日（土・祝）

時間：10:00 - 15:00

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

内容：I 部 記念講演会「考古学には夢がある」

ア 「最新技術が拓く考古学の未来 -3D 計測を中心に-」

NPO 法人南アジア文化遺産センター 野口淳

イ 「100 年後の登呂遺跡 -遺跡の活用の未来形-」
文化庁 禰亘田佳男

II 部 討論会「高校生と語る登呂遺跡の未来」

ア 発表「私たちの弥生人体験記 -とろむら生活-」
城南静岡高校地域貢献部

イ 意見交換会「高校生と語る登呂遺跡の未来」
城南静岡高校地域貢献部

関西外国語大学教授 佐古和枝

静岡大学教授 篠原和大

料金：無料

人数：62 人（定員 60 人）

共催：一般社団法人日本考古学協会

(2) 展示解説

日程：平成 30 年 9 月 29 日（土）、
10 月 7 日（日）、11 月 24 日（土）、
12 月 16 日（日）

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館 2 階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：44 人

広報・報道

(1) テレビ・ラジオ

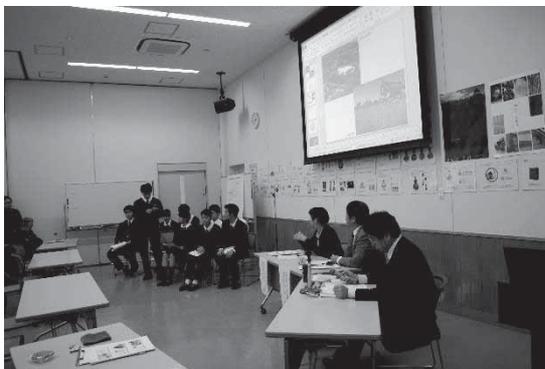
・『イブアイしずおか』SBS 静岡放送
10 月 4 日（木）撮影、10 月 5 日（金）放送
・「静岡ドライブインフォメーション」
『Cha!Cha!サタデー』FM-Hi! 10 月 6 日（土）

(2) 新聞

・「登呂遺跡 昭和と平成の姿」
毎日新聞 9 月 26 日（火）
・「3 日、考古学と未来テーマに講演」
静岡新聞 11 月 1 日（木）
・「登呂遺跡 発掘の歴史」
中日新聞 11 月 2 日（金）
・「「弥生人体験」語る」
静岡新聞 11 月 6 日（火）

(3) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』10 月号
・「ART INFORMATION」
『すろーかる』10～12 月号
・「ART INFORMATION」
『すろーかる』10 月号（広告）
・「登呂博物館で、「昭和」と「平成」の違いを探検」『リビング静岡』11 月 10 日（土）
・JR 静岡駅構内ポスター掲出
10 月 1 日（月）～28 日（日）
・「静岡市大交流会 in 東京」にチラシ、ジオラマ、パンフレットを出展
12 月 19 日（水）



公開講演会（意見交換会）

4-4 企画展「登呂をとめ 安倍をとこ」

会 期：平成31年1月12日(土)～3月3日(日)
 ≪44日間≫

概 要：弥生時代の遺跡として知られている登呂遺跡。今日まで守り伝えられてきたその陰には、登呂遺跡に情熱を捧げたアツい人たちの支えがあった。そのような、青春の一コマを登呂に捧げた人々にスポットをあて、関連するモノとともにその熱意を紹介する。



展示状況

観覧者：3,121人

一 般	2,021人
高校生・大学生	267人
小学生・中学生	833人

点 数：113点

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：25,130枚

紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター

サイズ：B2、A2

数 量：750部、1,540部

紙 質：微塗工紙 四六判 99kg

(3) パンフレット

構 成：A4 8ページ 中綴じ

数 量：500部

紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

担当者：國島朋子



チラシ表面



チラシ裏面

関連事業

(1) 講演会「登呂をとめ 安倍をとこ」

概要：登呂遺跡の歴史に関わった人の生の声を聴くことで、展示品及び各資料への理解を深めてもらった。

日時：平成31年2月9日（土）13:00-16:15

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

演題：ア 「昭和の発掘調査に関わった人々」

イ 「静岡考古館から登呂博物館へ
～登呂を支えた人々～」

講師：ア 元國學院栃木短期大学教授 下津谷達男

イ 元登呂博物館学芸員 中野宥

料金：200円

人数：33人（定員60人）

(2) イベント「登呂人を知ってみよう！」

概要：登呂遺跡発掘調査に関わった大塚初重氏の紙芝居の読み聞かせを行い、「登呂のうた」を紹介するとともに、登呂すぐろくで登呂遺跡の弥生人を体感してもらうことで、参加者に展示物に対する理解を深めてもらった。

日時：ア 平成31年1月13日（日）13:30～15:00

イ 平成31年2月24日（日）13:30～15:00

内容：ア 登呂紙芝居

イ 登呂すぐろく

会場：登呂博物館1階 交流ホール

講師：常葉大学教育学部 安藤研究室学生

料金：無料

人数：ア 53人

イ 17人

(3) 展示解説

日程：平成31年1月12日（土）、2月2日（土）、
17日（日）、3月3日（日）

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：51人

広報・報道

(1) テレビ・ラジオ

・静岡市広報課製作テレビCM
民放4局 1月25日（金）

・「静岡ドライブインフォメーション」

『Cha!Cha!サタデー』FM-Hi! 1月26日（土）

・『たっぷり静岡』NHK静岡

2月19日（火）取材、2月27日（水）放送

・SBS静岡放送ニュース

2月24日（日）取材、放送

(2) 新聞

・「遺跡発掘功労者に焦点」

静岡新聞 1月13日（日）

(3) 雑誌他

・静岡市広報誌『静岡気分』1月号

・「ART INFORMATION」

『すろーかる』1月号～2月号

・「ART INFORMATION」

『すろーかる』1月号（広告）



登呂紙芝居

4-5 企画展「石をつかった、土器をつくった。－静岡市の旧石器・縄文時代－」

会 期：平成31年3月23日(土)～令和元年6月16日(日)
 ≪75日間(8日間)≫
 ※次年度へ継続。()内は平成30年度の日数

概 要：静岡市の歴史を紹介する展示の第一弾(4年間で旧石器時代から平安時代まで、考古資料を中心に展示する)。静岡市内には登呂遺跡以前の旧石器時代や縄文時代の遺跡がいくつかある。県内他市の遺跡からの出土品も含め、縄文時代以前の時代と静岡市の歴史を紹介する。



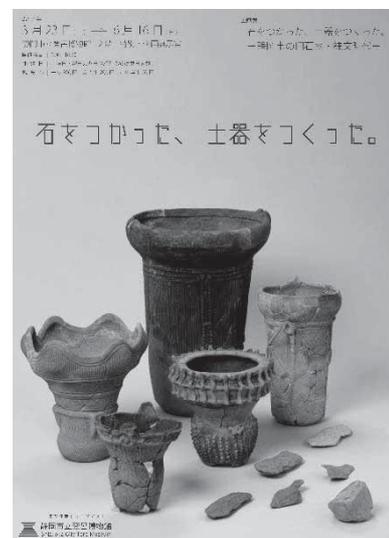
展示状況

観覧者：15,276人(917人)
 一 般 6,279人(591人)
 高校生・大学生 359人(51人)
 小学生・中学生 8,638人(275人)
 ※()内は平成30年度のみ的人数

点 数：624点

資料協力：香芝市教育委員会(二上山博物館)
 河津町教育委員会 静岡県埋蔵文化財センター
 ふじのくに地球環境史ミュージアム

印刷物：(1) チラシ
 サイズ：A4
 数 量：48,430枚
 紙 質：マットコート紙 四六判 90kg
 (2) ポスター
 サイズ：B2
 数 量：760部
 紙 質：マットコート紙 四六判 110kg
 (3) パンフレット
 構 成：A4 8頁 中綴じ
 数 量：3,000部
 紙 質：マットコート紙 四六判 90kg



チラシ表面



チラシ裏面

担当者：鈴木匡

関連事業 ※平成 31 年度事業を含む

(1) 講演会「黒曜石はどこから来たか」

概要：旧石器時代から使われ続けた黒曜石。その利用と産地分析から、人の移動や交流など当時の社会に迫る。

日程：平成 31 年 4 月 21 日（日）

時間：13:30 - 15:00

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

演題：「海を渡り、山を越える縄文人」

講師：明治大学黒曜石研究センター 池谷信之

料金：100 円

人数：54 人（定員 60 人）

(2) ワークショップ「黒曜石オリンピック」

概要：鹿の角のハンマーを自作し、黒曜石などを割って、自分だけの石器をつくる。

日程：令和元年 5 月 18 日（土）、19 日（日）

時間：13:00 - 16:00（18 日）、10:00 - 16:00（19 日）

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホールほか

講師：仙台市縄文の森広場 佐藤祐輔

ふじのくに地球環境史ミュージアム 坂田尚子

料金：3,000 円

人数：15 人（定員 15 人、小学 5 年生以上）

企画：登呂会議（代表 本原令子）

(3) 展示解説

日程：平成 31 年 3 月 23 日（土）、4 月 13 日（日）、
令和元年 5 月 4 日（土・祝）、6 月 1 日（土）

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館 2 階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：103 人

広報・報道 ※平成 31 年度分を含む

(1) テレビ・ラジオ

・静岡市広報課製作テレビ CM 民放 4 局 3 月 15 日（金）

(2) 新聞

・電話取材 共同通信社 3 月 28 日（木）取材

・講演会告知記事 朝日新聞 4 月 11 日（木）

・「深鉢形土器や石皿 古代の生活感じて」

静岡新聞 5 月 19 日（日）

(3) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』3 月号

・「ARTINFORMATION」

『すろーかる』3 月号～6 月号

・「ARTINFORMATION」

『すろーかる』3 月号（広告）

・静岡鉄道電車中吊り広告

（3 月 2 日～29 日）



講演会



ワークショップ（鹿角製ハンマーづくり）



ワークショップ（石器づくり）

4-6 特別展・企画展開催実績（リニューアルオープン後） ※網掛けは特別展

年度	会期	展覧会名
22	2010.10.3～12.5	ひらけ！弥生の扉 弥生人の脳に刻まれた記憶
	2010.12.18～2011.1.30	うつわ展
	2011.2.19～3.27	子どもたちの考古学 考古学はじめての一步
23	2011.4.23～6.19	復元された古代建物 はじまりは登呂遺跡
	2011.7.9～9.4	登呂遺跡発掘物語 子どもたちに伝えよう登呂遺跡の価値
	2011.9.23～10.30	発掘された日本列島 2011
	2011.11.10～12.4	古代へのまなざし 芹沢銈介が愛した縄文・弥生
	2011.12.17～2012.1.27	弥生ファッションショー
	2012.2.11～3.20	赤い土器の世界 登呂式土器の赤彩を探る
24	2012.4.21～7.1	わがまちの遺跡展 登呂のとなりムラ鷹ノ道遺跡
	2012.7.14～9.23	登呂博物館開館 40 周年記念展 登呂遺跡はじめて物語 ～40 メモリーズ～
	2012.10.6～12.9	舟の力 ～古代人があこがれたノリモノ～
24-25	2013.1.12～6.30	米づくりの今昔 ～見て、触って、動かす農具～
25	2013.7.13～9.23	登呂のうた
	2013.10.5～12.8	特別史跡登呂遺跡発見 70 周年記念 弥生の戦い ～その時登呂ムラは!?!～
25-26	2014.1.11～6.29	静岡の水田遺跡
26	2014.7.12～9.28	きっかけは登呂遺跡
	2014.10.11～12.7	縄文そして登呂 ～八ヶ岳山麓から駿河湾まで～
26-27	2015.1.17～6.21	祭礼のかたち
27	2015.7.11～9.23	豊かな水源に生きる
	2015.10.10～12.7	登呂のいす展
27-28	2016.1.16～5.29	登呂の食事情
28	2016.6.18～9.4	重要文化財登呂遺跡出土遺物展
	2016.9.17～12.4	弥生×登呂
	2017.1.7～3.5	静岡考古展
28-29	2017.3.18～6.4	石の刃物 鉄の刃物
29	2017.6.24～9.3	登呂発掘と静岡市の近現代
	2017.9.30～11.26	東海土器五十三次展
	2018.1.6～3.4	こだいの「ふふっ」展
29-30	2018.3.21～6.10	ウトウ・トロ・タカノミチ
30	2018.6.30～9.9	富士山がみえる
	2018.9.29～12.16	平成×登呂
	2019.1.12～3.3	登呂をとめ 安倍をとこ
30-31	2019.3.23～6.16	石をつかった、土器をつくった。 -静岡市の旧石器・縄文時代-

4-7 通常展示

(1) 常設展示室（博物館2階）

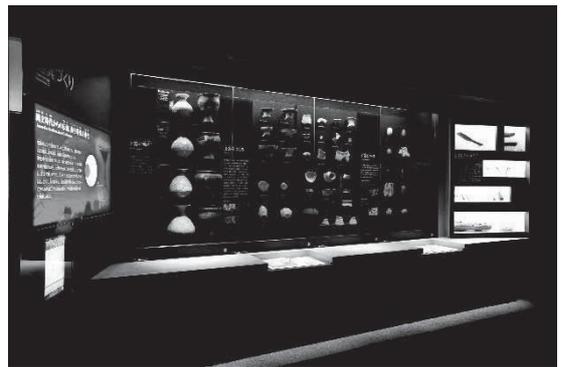
概要：登呂遺跡にあった集落（ムラ）の生活を紹介する展示室。

平成11年から15年にかけて行われた登呂遺跡再発掘調査の成果を示しながら、ムラを再現したジオラマや、クイズ、映像媒体などを使った直感的な展示を行っている。周辺遺跡の紹介や、日本考古学史上大きな役割を果たした登呂遺跡の発掘調査について、当時発掘にかかわった人々へのインタビュー映像や新聞記事などの資料でわかりやすく伝えている。

また、平成28年に国の重要文化財に指定された出土品も数多く展示されている。

資料：重要文化財登呂遺跡出土品、有東遺跡出土品など

点数：約350点



(2) 弥生体験展示室（博物館1階）

概要：登呂博物館の特徴の一つである「体験学習」を行うための展示室。

弥生時代の登呂ムラを再現している。壁に描かれた風景と、復元された住居、高床倉庫、祭殿の3種類の建物、土器や木製品などの道具、そして実際に貫頭衣を来た入館者によって、登呂ムラの様子が復元されている。田植え・田下駄・穂摘みなど、弥生時代の米づくりを模擬的に体験できるとともに、当時使われていた様々な道具を実際に手に取り使用することができる。

室内には、体験指導員や博物館ボランティアが常駐し、来館者の体験補助と説明を行っている。

博物館1階は無料で体験できる。



5 保存活用

5-1 修理事業

(1) 登呂遺跡出土品

登呂遺跡は昭和18年に発見された弥生時代後期の集落跡及びそれに隣接する水田跡を中心とした遺跡。戦後の昭和22年から25年にかけては、各大学の連携による学際的で大規模な調査が行われた。その調査は学史的にも有名なものである。

出土品は、土器と木製品が中心で、これらが「弥生時代の生業や集落の実態を初めて学界に示した遺跡からの出土品で、戦前から戦後にかけての日本考古学の研究史を語るうえで欠かせない資料」として、775点が平成28年に重要文化財に指定された。

(2) 修理概要

出土品は保存処理が行われておらず脆弱な状態のものが多いため、平成30年度から保存修理事業を開始した。まずは14年間をかけて木製品を中心とした459点の修理を行う。

修理は、出土品にとって優しく必要最低限なもので、可逆的な方法で実施する。

所有者：静岡市（実施：静岡市教育委員会）

期間：平成30年度 - 令和13年度

費用：文化庁補助金(1/2)、静岡市(1/2)

対象：459点

(3) 基本的な修理方法

ア 記録

将来的な再処理も見据えて、事前の記録、処理工程・使用薬剤の記録、事後の記録などを確実にとる。

イ クリーニング

資料に損傷を与えない方法で表面に付着する汚れを除去する。

ウ 安定化処理・修復

基本的に樹脂を含侵させて、資料を強化する。ただし、素材やその状態に応じて処理内容を検討する。

亀裂があるものや折れているものは、樹脂含侵に加えて損傷部の補填・接合を行う。

エ 保存

一部の脆弱な資料について、保存台を作成する。

(4) 平成30年度実績

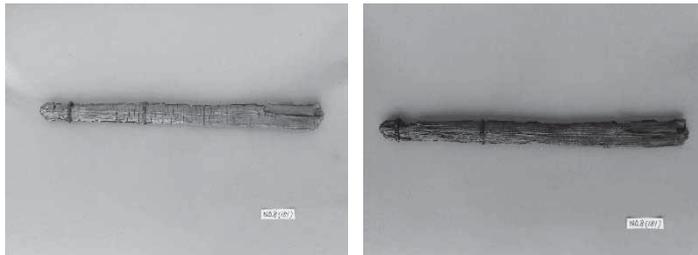
数量：37点（保存台8点作成）

修理：静岡県埋蔵文化財センター

運搬：日本通運株式会社静岡支店

指導監督：文化庁文化財第一課

経費：3,036,076円



靴形木製品（左：修理前 右：修理後）

5-2 資料貸出

平成 30 年度は出土資料等の貸出はなかった（写真掲載を除く。）。

5-3 寄贈

(1) 対象：特別史跡登呂遺跡 写真アルバムとスタンプ帳（昭和 29 年購入）

数量：1 点

寄贈者：個人

番号：DII-55

(2) 対象：第 6 次調査写真フィルム（35mm フィルム、昭和 40 年 7 月撮影）

数量：4 巻（128 枚）

寄贈者：個人

番号：GI-17

(3) 対象：『珠流河』第 13 号（静岡工業高校郷土研究部機関紙、昭和 42 年 1 月発行）

数量：1 冊

寄贈者：個人

番号：AVIII-14

(4) 対象：石器

数量：1 点

寄贈者：個人

番号：73

備考：昭和 39 年夏に静岡市駿河区片山で表面採集されたもので、上記（3）の 61 頁に実測図が掲載されている

6 教育普及

6-1 主催事業

(1) 登呂遺跡復元水田活用事業（団体水田）

概要：遺跡内にある復元水田を市民団体・学校団体等に貸し出し、赤米などの稲作を行う。弥生時代の景観を復元・維持し、水田での活動を体験する場所を提供する。

期間：平成30年4月～12月

会場：復元水田

料金：無料

参加者：15団体



(2) 市民水田「登呂遺跡の田んぼで赤米づくり体験」

概要：個人を対象に小区画水田を貸し出し、田起こしから赤米の田植え・脱穀・粃摺りまでの稲作体験を行う。

期間：平成30年4月～12月

会場：復元水田

料金：3,000円

参加者：25組



(3) 登呂遺跡復元水田利活用事業

概要：復元水田のうち遊休地となっている部分で畑作を行う。復元水田の有効活用と景観維持、農業体験の機会を提供する。

期間：平成30年4月～12月

会場：復元水田

料金：無料

参加者：1団体

(4) 呈茶サービス

概要：静岡ならではの「おもてなし」としてGW期間中の来館者に冷茶をふるまう。

日程：平成30年4月28日（土）～30日（月・祝）、
5月3日（木・祝）、4日（金・祝）

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

人数：3,753人



(5) プラモデル「登呂遺跡」をつくる ※H30 新規事業

概要：登呂遺跡の住居と倉庫のプラモデルをつくる。

日時：平成30年5月26日(土) 10:00 - 15:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：山田公之、山田浩史

料金：700円

人数：6人(定員10人、小学生以上、低学年は保護者同伴)



(6) 田植え・田下駄体験

概要：復元水田に赤米の苗を植える。また、水田で田下駄を履く体験も同時に行う。

日時：平成30年6月9日(土)、10日(日)

会場：復元水田

料金：100円

人数：197人(定員なし)



(7) 登呂遺跡の田んぼで生物観察

概要：復元された登呂遺跡で生物観察を行う。

日時：平成30年7月21日(土)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：100円

人数：19人(定員20人)

協力：常葉大学教育学部 久留戸教授、同研究室学生
静岡市環境学習指導員 守屋司子



(8) 子ども学芸員養成講座

概要：考古学系の学芸員の仕事を体験する。

ア 発掘、測量(8/1)

イ 拓本(8/8)

ウ 展示(8/15)

日程：平成30年8月1日、8日、15日(水)(全3回)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：300円

人数：6人(定員10人、小学5年生～中学3年生)



(9) 夏休み自由研究お助け隊！

概要：自由研究向けのワークショップを行う。

- ア 気分は学芸員！拓本体験(8/8)
- イ プラモデルで登呂遺跡をつくる(8/9)
- ウ やってみよう！染色体験(8/10)

日時：平成30年8月8日(水)～10日(金)

- ア 10:00 - 11:00、13:00 - 14:00
- イ 10:00 - 15:00
- ウ 10:00 - 11:00、13:00 - 14:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：ア・ウ 100円、イ 1,100円

人数：計72人

- ア 26人(定員なし)
- イ 7人(定員5人、小学生以上、低学年保護者同伴)
- ウ 39人(定員40人)



(10) とろムラ体験フェスティバル

概要：夏休みの来館者を対象に、火起こし、丸木舟乗船、弓矢等12種類の体験やイベントを行う。

日時：平成30年8月19日(日) 10:00 - 15:30

会場：登呂博物館、登呂遺跡

料金：無料(機織り、土器づくりは100円)

人数：計1,681人



(11) 石器づくり

概要：石(粘板岩)を研いで槍形の石器をつくる。

日程：平成30年9月15日(土)、16日(日)、23日(日)、
24日(月・祝)、11月23日(金・祝)～25日(日)

時間：9:30 - 11:30、13:30 - 15:30

会場：登呂遺跡

料金：100円

人数：計284人



(12) 土笛づくり

概要：粘土から整形、乾燥、野焼を行い、土笛をつくる。

日程：平成30年9月16日(日)、10月14日(日)(全2回)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

講師：弥生人体験クラブ 後藤昌徳

料金：200円

人数：25人(定員30人)



(13) ヘそもちづくり

概要：静岡県の風習で十五夜に供える「ヘそもち」を、登呂遺跡で収穫した赤米を混ぜてつくる。

日時：平成30年9月24日（月・祝）

10:00 - 11:30、13:30 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：200円

人数：22組（定員20組）



(14) 登呂遺跡写生大会 ※H30 新規事業

概要：秋の登呂遺跡を描いた作品を募集し、4部門に分けて審査・表彰し博物館内に展示する。

期間：平成30年10月25日（木）～11月25日（日）

会場：登呂遺跡、登呂博物館1階 登呂交流ホール

点数：56点（入賞者25人）

協力：静岡県立美術館、静岡市美術館（審査協力）



(15) 稲刈り・脱穀体験

概要：石包丁を使った稲刈り（穂摘み）と簡易的な脱穀・粃摺りを体験する。

日時：平成30年10月27日（土）、28日（日）、
11月3日（土・祝）、4日（日） 10:00 - 15:00

会場：復元水田

料金：100円

人数：136人（定員なし）



(16) 弥生土器づくり

概要：粘土を積み、野焼きをして弥生土器を完成させる。同時に、簡単に短時間でできるミニチュア土器づくりも行う。

日程：平成30年11月17日（土）、18日（日）、
12月15日（土）（全3回）

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

講師：弥生人体験クラブ 大川洪文

料金：300円（土器づくり）／100円（ミニチュア土器）

人数：10人（定員20人、小学生以上、低学年は保護者同伴）
63人（ミニチュア土器）



(17) プラモデル「登呂遺跡」をつくる

概要：登呂遺跡の住居と倉庫のプラモデルをつくる

日時：平成 30 年 12 月 22 日（土）10:00 - 15:00

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

料金：1,100 円

人数：2 人（定員 10 人、小学生以上、低学年は保護者同伴）



(18) しめ縄づくり「お正月は手作りのしめ縄で」

概要：復元水田で収穫した稲の藁でしめ縄を作る。

日時：平成 30 年 12 月 24 日（月・祝）10:00 - 12:10

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

講師：増田作一郎

料金：300 円

人数：92 人（定員 100 人）



(19) お年玉プレゼント

概要：常設展観覧者に対し、登呂遺跡復元水田で収穫した稲穂を小袋に入れたものを配布した。

日時：平成 31 年 1 月 4 日（金）～ 6 日（日）

場所：登呂博物館 2 階 常設展示室前

料金：無料

人数：1 日目：100 人

2 日目：100 人

3 日目：63 人（定員各日 100 人）



(20) どんど焼き

概要：しめ縄づくり体験で作成したしめ縄を焼き上げ、豊穰を祈願する。

日時：平成 31 年 1 月 13 日（日）10:30 - 11:50

会場：登呂遺跡

料金：無料

人数：200 人（定員なし）



(21) 福豆プレゼント

概要：常設展観覧者に対し、登呂遺跡の復元畑で収穫した大豆を炒ったものを配布した。

日時：平成 31 年 2 月 3 日（日）

場所：登呂博物館 2 階 常設展示室前

料金：無料

人数：100 人

(22) 小銅鐸チョコをつくる ※H30 新規事業

概要：型を使って有東遺跡出土の小銅鐸とトロペー形のチョコレートをつくる。

日時：平成31年2月10日（日）
10:30 - 11:30、13:30 - 14:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：100円

人数：11人（定員10人）



(23) 木のスプーンづくり

概要：登呂遺跡から出土した杓子形木製品と同形のスプーンをつくる。

日時：平成31年3月24日（日）10:00 - 15:00

会場：体験学習サポート施設

講師：すまうと 野木村敦史

料金：800円

人数：11人（定員15人、小学4年生以上）



6-2 共催・連携事業

(1) 静岡県埋蔵文化財センター巡回展

「いつもそばに動物（きみ）がいた」

概要：静岡県内から発掘された様々な動物の展示を通して、ヒトと動物の関わりについて解説する。

会期：平成30年3月8日（木）～4月12日（木）

会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー

連携先：静岡県埋蔵文化財センター

(2) シズオカ×カンヌウィーク登呂会場関連事業

概要：登呂遺跡を「シズオカ×カンヌウィーク2018」の一会場として提供し、実行委員会がマルシェや夜間の映画上映などを行った。博物館では、関連事業として「トリコロール腕輪づくり」を実施した。

日程：平成30年5月5日（日・祝）

会場：登呂遺跡・登呂博物館

料金：200円

人数：52人

連携先：シズオカ×カンヌウィーク実行委員会



(3) 静岡県考古学会講演会

概要：考古学の普及のための公開講演会の開催。
日時：平成30年6月17日(日) 14:30 - 16:00
会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
演題：「圧痕研究から見た穀物農耕の伝播と拡散」
講師：中山誠二(南アルプス市ふるさと文化伝承館館長)
人数：約35人
連携先：静岡県考古学会

(4) 妄想竪穴住居の設計

概要：専門学校の学生が考えた独創的な竪穴住居を発表し、その模型を展示した。
日程：平成30年6月29日(金)(発表日)
会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
参加者：学生12人
連携先：静岡デザイン専門学校



(5) 登呂 弥生がテーマのファッションショー

概要：弥生時代(2,000年前)のファッションを想像して表現、ショー形式で実施した。
日時：平成30年7月1日(日) 10:00 - 15:00
会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
人数：出演者36人、観客約60人
連携先：登呂博物館ミュージアムショップ



(6) 登呂ムラ紙芝居・大型カルタ・すごろく

概要：登呂遺跡を題材とした紙芝居・カルタ・すごろくを使って、遊びながら登呂遺跡を学ぶ機会を提供した。
日時：平成30年8月19日(日)、10月6日(土)、7日(日)、平成31年1月13日(日)※、2月24日(日)※
※企画展「登呂をとめ 安倍をとこ」の関連事業として実施
会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
人数：延べ194人
連携先：常葉大学教育学部 Do-ing プロジェクト



(7) 静岡県埋蔵文化財センター出張ふじのくに考古展

「元宮川神明原遺跡」

概要：静岡市駿河区に所在する元宮川神明原遺跡。古墳墳時代から近世にかけての溝、土坑、掘立柱建物跡といった遺構や、縄文時代から近世にかけての遺物を紹介。

会期：平成30年9月28日（金）～10月28日（日）

会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー

連携先：静岡県埋蔵文化財センター



(8) 親子で火おこし体験

概要：静岡市子どもクリエイティブタウン「ま・あ・る」の「しごと・ものづくり講座」の館外ツアーの一つとして実施。

日時：平成30年10月8日（月・祝）10:00 - 12:00

人数：44名

連携先：静岡市子どもクリエイティブタウン「ま・あ・る」



(9) 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」

概要：登呂遺跡発掘を機に設立された日本考古学協会の70周年を記念した公開講演会。また、講演会に先立ち、9月には高校生が登呂遺跡で生活体験を行った。
※詳細は企画展「平成×登呂」の関連事業（17頁）を参照

日時：平成30年11月3日（土・祝）10:00 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

連携先：一般社団法人日本考古学協会



(10) 登呂博物館 VI 計画

概要：学生が登呂遺跡・博物館をモチーフにしたロゴやポスターを制作・発表し、交流ホールに掲示した。

日程：平成31年1月10日（木）（発表日）

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

参加者：学生約20人

連携先：常葉大学造形学部 杉田研究室



- (11) 沓岐島 PR 1 DAY イベント IN 静岡市立登呂博物館
概要：原の辻遺跡がある沓岐市が行っているデリバリーミュージアム事業の一環で、観光誘致を目的に土器パズルや貨泉みがきを実施した。
日時：平成 31 年 2 月 2 日（土）10:00 - 15:30
人数：92 人
連携先：沓岐市教育委員会文化財課



- (12) ARTORO×2018
概要：登呂遺跡で活動する市民団体「登呂会議」が企画する各種講座に会場や道具などの面で協力した。
期間：平成 30 年 5 月～平成 31 年 2 月
連携先：登呂会議



6-3 講師派遣・出張講座

- (1) 市政出前講座 「静岡市の宝・登呂遺跡 ～充分（重文）知ってる？その魅力～」

概要：静岡を代表する遺跡である登呂遺跡について解説する。

ア 静岡県立駿河総合高校

日時：平成 30 年 6 月 29 日（金）13:20 - 14:10

目的：全国商業研究発表大会で静岡の魅力を発表することの参考とするため

講師：主任主事 國島朋子

人数：26 人

- (2) ほくぶ文化祭・健康まつり

概要：北部生涯学習センターで、ミニチュア土器づくり体験を実施した。

日時：平成 30 年 7 月 22 日（日）12:00 - 15:00

会場：北部生涯学習センター

講師：非常勤嘱託 飯島敬三

人数：40 人

- (3) サイエンスピクニック

概要：静岡科学館る・く・るが主催する自然科学分野の団体が集まるイベントにブースを出展した。平成 30 年度は、「弥生時代の楽器」をテーマに、琴、土笛、銅鐸などを紹介した。

日時：平成 31 年 3 月 9 日（土）13:00 - 16:00、10 日（日）10:00 - 16:00

会場：静岡科学館 る・く・る

講師：非常勤嘱託 卷田直紀

人数：176 人

7 職場体験・博物館実習等

7-1 職場体験

中学生の職場体験について、各校おおむね3日程度、一校あたり最大3人で受け入れた。弥生体験展示室での体験補助、屋外体験の補助、登呂遺跡で発見したことの展示ボード作成などの業務を行った。

番号	期間	学校	学年	人数
1	平成30年5月15日(火)～17日(木)	静岡市立清水小島中学校	2	1
2	平成30年5月16日(水)～18日(金)	静岡市立南中学校	2	3
3	平成30年5月22日(火)～23日(水)	静岡市立東豊田中学校	2	3
4	平成30年5月22日(火)～24日(木)	静岡市立大里中学校	2	3
5	平成30年7月18日(水)～20日(金)	静岡市立東中学校	2	3
6	平成31年2月5日(火)	静岡大学教育学部附属静岡中学校	1	1
7	平成31年2月19日(火)～21日(木)	静岡市立東中学校	1	3

7-2 視察等受入

番号	受入日	団体	目的
1	平成30年5月29日(火)	釈迦堂遺跡博物館	施設整備
2	平成30年10月4日(木)	茨城県八千代市文化財保護審議会	遺跡・施設見学
3	平成30年10月22日(月)	日本考古学協会静岡大会エクスカーション	遺跡・施設見学
4	平成30年12月7日(金)	八戸市博物館	施設整備
5	平成30年12月12日(水)	山口県立山口博物館	体験学習
6	平成31年2月7日(木)	三島市郷土資料館ボランティア	遺跡・施設見学

7-3 博物館実習

概要：学生を受け入れ、学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

期間：平成30年8月17日(金)～8月23日(木)≪6日間≫

人数：9人(定員10人)

(内訳) 京都学園大学1 京都府立大学1 神戸女子大学1 静岡大学1 昭和音楽大学1
聖心女子大学1 専修大学1 奈良女子大学1 立命館大学1

内容：1日目 概要説明、体験学習
2日目 資料取扱、梱包、写真撮影
3日目 体験イベント補助
4日目 教育普及事業案検討、展示計画
5日目 保存処理施設見学、展示計画
6日目 展示準備、展示・発表

8-1 広報印刷物

(1) 登呂遺跡・登呂博物館パンフレット

登呂遺跡及び登呂博物館の概要を紹介。英語版、簡体字版、繁体字版、韓国語版も用意。

仕様：マットコート紙 四六判 110kg、210×396mm（仕上 210×99mm）、蛇腹折り（四つ折り）



(2) 登呂遺跡イラストマップ

わかりやすいイラストで登呂遺跡を紹介。

仕様：上質紙 四六判 55kg、A4判（片面印刷）



(3) 年間スケジュール

仕様：マットコート紙 四六判 110kg、A4判（三つ折り）

部数：25,000部



表面



中面

(4) その他

各種講演会、講座、教育普及事業のチラシを適宜作成し、館内に配架したほか、市内小中学校や公共施設等に発送。

8-2 ウェブサイト

博物館の概要や利用案内、アクセス方法等のほか、各企画展の情報や関連イベント、博物館ニュース等を配信。団体の予約状況についても掲載している。(http://www.shizuoka-toromuseum.jp/)



8-3 報道・広告等

(1) テレビ・ラジオ ※展示及びその関連事業に関するものを除く。

- ・「ぶらちやり」『とびっきり!しずおか』静岡朝日テレビ 4月6日(金)
- ・「まるごとりっぷ」『まるごと』静岡第一テレビ 4月18日(水)
- ・「ファッションショー開催」『フラッシュニュース』SBS 静岡放送 7月1日(日)
- ・「地域の話 題 ファッションショー」『トコチャンワイド』トコちゃんねる静岡 7月5日(木)
- ・『ストレイトニュース』静岡第一テレビ 7月18日(水)
- ・「うまいら!」『NHK たっぷり静岡』NHK 静岡 7月26日(木)
- ・『ウドちゃんの旅してゴメン』名古屋テレビ 7月28日(土)
- ・『イブアイしずおか』SBS 静岡放送 8月6日(月)
- ・『サタデーステーション』静岡朝日テレビ 8月19日(日)
- ・『ひるラジ!静岡情報館』FM-Hi! 8月26日(日)、30日(木)
- ・『ストレイトニュース』静岡第一テレビ 8月30日(木)
- ・「静岡ドライブインフォメーション」『Cha!Cha!サタデー』FM-Hi! 9月29日(土)
- ・『プライムニュースしずおか』SBS 静岡放送 10月11日(木)
- ・『なかなか日本!～高速道路女子旅～』テレビ神奈川 12月10日(月)
- ・『サタハピしずおか』静岡朝日テレビ 12月15日(土)
- ・『ガリレオX』BSフジ 12月23日(土)
- ・『ひるおび!』静岡朝日テレビ 12月24日(日)
- ・『とびっきり!しずおか』静岡朝日テレビ 12月24日(日)
- ・『ヨエロス SP ドラマ「怒Sナイトの乱」』SBS 静岡放送 2月23日(金)

・区役所内広告付き窓口案内表示にて企画展やイベント情報を放映。

(2) 新聞 ※展示及びその関連事業に関するものを除く。

- ・「登呂博物館4ヶ国語対応」静岡新聞 4月24日(火)
- ・「駿河区役所に情報発信広場」静岡新聞 4月25日(水)※
- ・「芹沢銈介美術館新茶でもてなし 登呂博物館でも」静岡新聞 5月5日(土)
- ・「登呂遺跡シズオカ×カンスウィーク開幕」静岡新聞 5月6日(日)
- ・「弥生時代テーマのショー出演者募集」静岡新聞 5月11日(金)
- ・「登呂遺跡 作って学ぶ」朝日新聞 5月27日(日)
- ・「登呂遺跡のプラモデル製作」静岡新聞 5月28日(月)
- ・「「トロペー」スタンプ 勉強応援」静岡新聞 6月7日(木)※
- ・「泥にまみれ 田植え丁寧」静岡新聞 6月10日(日)
- ・「新たな竪穴住居「妄想」」静岡新聞 6月30日(土)
- ・「弥生時代をイメージ ランウェーを次々」朝日新聞 7月2日(月)
- ・「“ご当地トロペー”考えて」静岡新聞 7月12日(木)※
- ・「大自在」静岡新聞 7月13日(金)
- ・「水辺の生き物「捕まえた！」」静岡新聞 7月24日(火)
- ・「土器の接合に挑戦」静岡新聞 8月14日(火)
- ・「トロペーの新デザイン 駿河区役所が募集」毎日新聞 8月16日(木)※
- ・「弥生時代の生活体験」静岡新聞 8月20日(月)
- ・「登呂遺跡の魅力 絵に」静岡新聞 10月6日(土)
- ・「トロペー誕生日園児とお祝い」10月7日(日)※
- ・「登呂遺跡にコウノトリ」静岡新聞 10月12日(金)
- ・「登呂遺跡にコウノトリ」毎日新聞 10月13日(土)
- ・「登呂モデルに地域活性」静岡新聞 10月17日(水)
- ・「考古学と未来テーマに講演 登呂博物館」静岡新聞 11月1日(木)
- ・「「弥生人体験」語る」静岡新聞 11月6日(火)
- ・「古代米親子で収穫」静岡新聞 11月6日(火)
- ・「登呂遺跡で文化財 秘境スタンプラリー」静岡新聞 11月10日(土)※
- ・「プラモデルでミニ登呂遺跡」静岡新聞 12月23日(日)
- ・「しめ縄作り正月準備」静岡新聞 12月25日(火)
- ・「豊作願いどんど焼き」静岡新聞 1月14日(月)
- ・「トロペー2周年新衣装 駿河区の児童に募集」朝日新聞 1月23日(水)※
- ・「トロペー、マンホールに」静岡新聞 1月23日(水)※
- ・「トロペー マンホール披露」静岡新聞 1月25日(金)※
- ・「登呂遺跡で弥生時代の生活再現」日本経済新聞 2月3日(日)
- ・「災害対応、トロペーと学ぶ」静岡新聞 3月15日(金)※

※駿河区役所の事業に関するもの

(3) 雑誌等

ア 有料広告

- ・『るるぶ「夏休みこどもとあそぼ! 2018 首都圏版」』(6月)
- ・『縄文 ZINE』(6月、12月)
- ・JR 静岡駅 駅貼りポスター(6~7月、10月)
- ・『すろーかる』(7月、10月、1月、3月)
- ・静岡鉄道 電車中吊り広告(7月~8月、3月)
- ・『冬びあ 2018 首都圏版』(10月)
- ・『2019 静岡市成人式パンフレット』(1月)
- ・『びあ こどもとおでかけ 365 日 首都圏版』(1月)
- ・久能山東照宮 案内板(1月)
- ・『旅行けば しずおか お宿ガイド』(1月)
- ・『わお! マップ 静岡市』(2月)

イ 無料広告等

静岡気分(静岡市広報紙)
しずおか生活ガイドブック
静岡市公園ガイドブック
しずおかし子どもとおでかけマップ
博物館研究
GRANSHIP マガジン
すろ〜かる
リビング静岡
タウン新聞しずおか
しずおか科学技術月間
ゼンリン「静岡駅周辺のご案内」
「静岡の博物館」(静岡県博物館協会会報)
『るるぶ静岡 清水 浜名湖 富士山麓 伊豆'19』
『まっふる静岡 2019』
SENCE(シニアのためのフリーペーパー)
ぷちりょこ静岡
トヨタレンタカー「ロードナビ 2019」
『こどもとおでかけ 365 日 東海版』
しずおか文化財ウィーク
しずおかるた
東海道まちあるきガイドブック
フォトウエディング静岡
JR 東海ツアーズパンフレット
清水港観光・体験 BOOK 2019
エステティック TBC メンバーズマガジン「NATSUKO/DANDO」

(4) ウェブサイト等

登呂博物館ホームページ
静岡市ホームページ
静岡市 Facebook
静岡市 Twitter
静岡県観光協会ホームページ
さきがけミュージアム
スルマガ
静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」
アトリエふじのくに
びびっと+
ハローナビしずおか
駿府 静岡市
ふじのくに文化情報
GRANSHIP マガジン
日本博物館協会ウェブサイト
日本考古学協会ウェブサイト
Artscape
ふじのくに子ども観光大使向けメールマガジン
ナビタイムジャパン
しずぎん STATION
静岡新聞「@S」(アットエス)
ウィークリーガイド
るるぶ.com
じゃらん net
わお! ひろば
のびとく
カンデオタイムズ
楽天トラベルナビ
Dokka! おでかけ探検隊
観光情報サイト「ShizuPASS」
観光アプリ「伊豆ドリームナビ」
JR 西日本「おでかけネット」
JR 東日本「駅たび net」
Yahoo! JAPAN「ロコ」
地球の歩き方「日本の歩き方」
いこーよ
観光情報サイト「Open Wi-Fi」
インターネットミュージアム
WalkerPlus
湘南リビング新聞社「湘南える」

浜松市子育て情報情報サイト「びっぴ」
 インフォメーション (GW)
 スポーツ交流課 Facebook
 るるぶ観光データベース
 IN SHIZUOKA.com

Japan Highlight Travel
 PATW

(5) その他

キュウソネコカミ『推しのいる生活』ミュージックビデオ

8-4 トロペー

平成 22 年の登呂博物館リニューアルに向けて、デザイン及び愛称を公募して平成 21 年に誕生した登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター。平成 29 年 1 月に駿河区応援隊長にも就任し、登呂遺跡・登呂博物館だけでなく静岡市駿河区全体の PR 活動を行っている。



名前：トロペー

由来：登呂遺跡の「トロ」とおコメ（米）の「ベイ」から

肩書：登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター兼駿河区応援隊長

活動：博物館内における来館者とのふれあいの他、広報媒体や各種イベントに掲載・出演し、登呂遺跡・登呂博物館を宣伝している。

活用：平成 25 年度から静岡大学登呂博物館ボランティア「STV」がトロペーを活用する活動を開始。

平成 29 年 1 月 24 日には「駿河区応援隊長」に任命され、駿河区地域総務課が主体となり、駿河区のイメージキャラクターとしても活動している。

平成 30 年度には静岡市内にある城南静岡高校（駿河区南八幡町）の「地域貢献部」が、トロペー出演を含むボランティア活動を始めた。

登呂遺跡・登呂博物館での出演

番号	出演日	出演イベント	備考
1	30.5.5(土・祝)	シズオカ×カンヌウィーク 2018	STV
2	30.6.23(土)	博物館内トロペー出演	STV
3	30.7.21(土)	生物観察	城南静岡高校地域貢献部
4	30.8.19(日)	とろムラ体験フェスティバル	STV
5	30.10.6(土)~10.7(日)	登呂まつり	STV
6	30.12.16 (日)	駿河区フォトロゲイニング	STV
7	31.2.3 (日)	博物館内トロペー出演	職員

活用状況 (※駿河区地域総務課が窓口となったものは含まない。)

番号	出演日	出演イベント	出演場所
1	30.3.31(土)～4.1(日)	第 62 回静岡まつり	駿府城公園・青葉シンボルロード
2	30.5.25(金)	登呂博物館に行こう！	静岡県立中央特別支援学校 登呂遺跡・登呂博物館
3	30.6.9(土)	ミニ台湾まつり@静岡	葵スクエア
4	30.7.22(日)	ほくぶ文化祭・健康まつり	北部生涯学習センター
5	30.9.9(日)	静岡ふれあい広場	青葉シンボルロード
6	30.10.6(土)	東新田こども園運動会	東新田こども園
7	30.10.27(土)	星槎国際高校学校祭	星槎国際高校
8	30.11.6(火)	SDGs ウィーク広告媒体用写真撮影	登呂遺跡・登呂博物館
9	30.11.11(日)	JomonFES・2018-山梨縄文まつり-	甲府駅北口よっちゃばれ広場
10	30.11.18(日)	サイクルフェス in 東静岡・静岡けいりん	池田東静岡公園
11	30.12.3(月)	しぞ～かちゃきちゃき体操講演会	清水テルサ
12	30.12.4(火)	家康お手植えみかん収穫イベント	駿府城公園
13	31.3.1(金)～3.7(木)	平成 30 年度春季火災予防運動	駿河消防署・JR 静岡駅・高松こども園
14	31.3.3(日)	静岡市消防音楽隊記念演奏会	駿河消防署
15	31.3.8(金)～3.10(日)	静岡おでん祭 2019	青葉シンボルロード
16	31.3.20(水)～3.23(土)	文部科学大臣杯第 10 回記念全日本少年春季軟式野球大会	県営草薙総合運動場硬式野球場
17	31.3.30(土)～3.31(日)	三保松原文化創造センターオープニングイベント	三保松原文化創造センター



とろムラ体験フェスティバル



登呂まつり

9 その他

9-1 博物館ボランティア

平成7年の活動開始以来、団体見学者の引率、体験展示室での説明補助、イベント補助などの活動を行ってきている。原則、毎月一回、博物館職員を交えた「ボランティア連絡会議」を開催している。

(1) 活動内容 () 内はボランティアの参加者数

月	会議	研修等			講座・イベント支援
		展示解説	米づくり	その他	
4	会議(15)			機織り腕輪づくり実技研修 復元建物解説	
5	会議(17)		もみまき 田起こし		シズオカ×カヌウィーク 腕輪づくり(6) 土器炊飯(1) とろムラ夜間開放(2)
6	会議(14)		代掻き 田植え		田植え・田下駄体験(1)
7	会議(16)	富士山がみえる			
8	会議(18)		草取り		夏休み自由研究お助け隊! (3日間、計16)
					とろムラ体験フェスティバル(16)
9	会議(10)				土笛づくり①(4)
					へそもちづくり(10)
10	会議(18)	平成×登呂	稲刈り	施設見学研修打合せ(5)	土笛づくり②(2)
					稲刈り体験(4日間、計5)
11			脱穀 粃摺り	施設見学研修 (かぐや姫・三島市、23)	土器づくり(2日間、計22)
12	会議(19)				しめ縄づくり(13)
1	会議(19)	登呂をとめ 安倍をとこ			どんど焼き(6)
2	会議(23)			ボランティア交流(23) 三島市ボラ対応(12)	小銅鐸チョコづくり(8)
3	会議(23)	石をつかった、土器をつくった。			木のスプーンづくり(6)

(2) 登録者数：47人（平成30年4月1日時点。前年同時期45人）

(3) 平均活動人数：1日平均6.4人（前年度比0.7人増加）

(4) 新規ボランティア募集状況

ア 応募人数：①夏季6人、②冬季2人

イ 募集期間：①平成30年8月1日～8月31日、②平成30年12月1日～平成31年1月14日

ウ 事前研修：下記研修日程表のとおり（研修日は各回どちらか1日を選択）

回数	日時	内容
1	① 9月21日（金）、23日（日） ② 2月1日（金）、3日（日） 9:30 - 12:00	ガイドンス、常設展示室、体験展示室解説
2	① 9月28日（金）、30日（日） ② 2月6日（水）、11日（月・祝） 9:30 - 12:00	遺跡解説 体験実技研修（火おこし、土器づくり）
3	① 10月11日（木）、20日（土） ② 2月15日（金）、17日（日） 9:30 - 12:00	予備日（1・2回不参加の応募者への研修）
4	① 10月27日（土） ② 2月16日（土） 9:30 - 11:30	連絡会議出席、顔合わせ

(5) 城南静岡高校ボランティアの活動

平成30年度から静岡市内にある城南静岡高校で「地域貢献部」が発足し、団体ボランティアとして登呂博物館で活動している。週末に体験展示室での体験補助や、夏休みのイベント等に参加・活動している。

部員数：22人（平成30年度） ※この人数は（2）の「登録者数」には含まない。



水田活動



しめ縄づくり研修

9-2 博物館協議会

博物館法第20条第1項及び静岡市博物館条例第11条第1項の規定に基づき、登呂博物館に「静岡市立登呂博物館協議会」を置いている。なお、博物館協議会は博物館法第20条第2項において「博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関」と定められている。

(1) 委員名簿

選出区分	氏名	職業・役職
学校教育関係者	伏見 和久	静岡市立南部小学校長
学校教育関係者	杉山 昌之	静岡市立清水第五中学校長
社会教育関係者	海野 美枝	HITS ファシリテーション代表
社会教育関係者	弓削 幸恵	NPO 法人「まちなびや」理事長
家庭教育関係者	藤田 三佐子	静岡市立小中学校 PTA 連絡協議会顧問
学識経験者	会長 石川 宏之	静岡大学学術院融合・グローバル領域 地域創造教育センター准教授
学識経験者	山岡 拓也	静岡大学人文社会科学部社会学科（考古学）准教授
学識経験者	渋江 かさね	静岡大学教育学部大学院教育学研究科准教授
市民	杉山 美代子	市民公募委員
市民	石亀 雅敏	市民公募委員

任期 平成29年8月1日から令和元年7月31日まで 2年間（平成31年3月31日時点）

(2) 平成 30 年度協議会開催実績

ア 第 1 回

日 時：平成 30 年 6 月 28 日（木）10:00 - 12:00

会 場：静岡市立登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

出席者：8 人

傍聴者：0 人

内 容：(1) 博物館施設視察

(2) 平成 29 年度の事業報告について

(3) 平成 30 年度の事業について

(4) 議題「子ども世代への、登呂、考古学、文化の魅力を継承するための、登呂博物館における課題の解決策について」

イ 第 2 回

日 時：平成 30 年 9 月 12 日（水）10:00 - 12:00

会 場：静岡市立登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

出席者：8 人

傍聴者：0 人

内 容：(1) 博物館施設視察

(2) 平成 30 年度前半の事業報告について

(3) 平成 31 年度の事業方針について

(4) 議題「子ども世代への、登呂、考古学、文化の魅力を継承するための、登呂博物館における課題の解決策について」

10 利用案内

(1) 開館時間

9:00 - 16:30 (博物館)、遺跡は24時間オープン

(2) 休館日

月曜日 (休日の場合は開館)、休日の翌日、12月26日から1月3日 ※臨時開館・閉館する場合あり

(3) 観覧料 (通常期：平成31年4月1日時点) ※博物館1階は無料をご利用いただけます。

区分	一回	団体※ ¹	回数券※ ²	共通券※ ³	団体共通券※ ^{1,3}
一般	300円	220円	1,380円	570円	460円
高校生・大学生	200円	150円	920円	360円	280円
小学生・中学生	50円	40円	230円	120円	90円

※1 「団体」は有料観覧者30名以上の団体

※2 「回数券」は5枚綴り

※3 「共通券」は登呂博物館に隣接する静岡市立芹沢銈介美術館との共通観覧券

ただし、以下の者は観覧料を無料とします。

ア 静岡市内に居住する70歳以上の者

イ 静岡市内に居住し、又は通学する小学校の児童及び中学校の生徒 (これらに準ずる者)

ウ 未就学児

また、学校団体の見学、身体障害者手帳等の交付を受けた方とその同伴者1名など、観覧料の免除となる場合があります。詳細は登呂博物館にご確認ください。

(4) アクセス

ア バス JR静岡駅南口から約10分 しずてつジャストライン石田街道線「登呂遺跡」行き終点下車

イ 自動車 (ア) 東名高速道路 静岡ICから約10分

(イ) 東名高速道路 日本平久能山スマートICから約10分 (ETC車載機搭載車のみ利用可)

ウ 駐車場 博物館南側 (東名高速道路側道北側) に有料駐車場あり (普通車一回400円)

(5) 音声ガイド

常設展示室及び復元建物に音声ガイドを整備しています。専用のスマートフォンで利用できます。

ア システム 「pitatto」(ノムラテクノ株式会社)

イ 言語 日本語、英語、中国語 (文字は簡体字)、韓国語

ウ 設置箇所 15 (博物館内11、復元建物4)

エ 利用方法 専用のスマートフォンを博物館内で貸し出ししています。

静岡市立登呂博物館 館報 第 25 号 (平成 30 年度)

発行日：令和元年 9 月 30 日

印刷：池田屋印刷株式会社

編集発行：静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL 054-285-0476 FAX 054-287-1466

torohaku@city.shizuoka.lg.jp <http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>

